



神小だより

ホームページアドレス <http://kamiyama-es.agano.ed.jp/>

阿賀野市立神山小学校

学校だより 6月号

保護者・地域版

H29年6月12日



「確実に成長し続ける神山小学校の子どもたち」

校長 鈴木 正彦

初夏のさわやかな風がうれしい季節となりました。

5月20日には、雲一つ無い晴天の下、「創立40周年記念大運動会」が行われました。たくさんの保護者地域の皆様からご支援をいただきまして、誠にありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは赤組応援団長「嶋津静希」さん、白組応援団長「音田暁美」さんを中心に、神山小学校の40年の歴史と伝統を受け継ぎ、精一杯がんばっていました。この運動会をとおり、心身共に一回りも二回りも確実に成長しました。

閉会式終了後の記念撮影、ジェット風船飛ばしにもたくさんの方々から参加していただき、一生に一度の心に残る思い出もできました。心より感謝いたします。

なお、子どもたちの活躍の様子については、〈子ども百態〉の写真もご覧ください。

さて、運動会で私（校長）は、子どもたちに3つのこととお話しました。1つ目は、「運動会をとおして、これができるようになった、と言えるようになってください。」、2つ目は、「神山小学校創立40周年の記念すべき日に、運動会ができる幸せをかみしめてください。」、3つ目は、「きまりやルールを守って、精一杯楽しんでください。」です。子どもたちは、この3つの内容を見事に守ってくれました。

この中で、1つ目の内容について少しお話します。「これができるようになった。」とは、あくまで「前の自分と比べて、少しでもできるようになった。」ということです。どうしても私たちは、何をやるにおいても人と比べがちです。しかし、私たちはお互いもっている力や得意・不得意なものは、もともと違うはずで、よって、他人と比べて、「～さんよりできない。」「～さんよりできた。」ということに、ほとんど意味はありません。

それよりも、一昨日の自分と、昨日の自分と比べて、できるようになったかどうかが大切です。また、できるようになったと言っても、大きな伸びができなくてもいいのです。1ミリでも、0.1ミリでもいいのです。とにかく、できるようになったということが大切です。

勉強でも運動でも、友達関係でも、すべてにおいて言えることです。苦しいときもたくさんあるでしょう。でも、神山小学校のみなさんは、決してあきらめることなく、確実に前へ進み続けることができると信じています。そんな、「努力し続けるみなさんを、運命は、絶対に裏切りません。」

1学期も残すところ2か月足らずです。前半を振り返り、運動会をとおして学んだことを、ぜひこれからの学校生活に生かして欲しいと思います。

6月は、陰暦（月の満ち欠けを基準として、1か月や1年を定めたもの）では、「水無月（みなづき）」とも言うそうです。雨がたくさん降る季節なのに、「水の無い月」とは変な感じがしますね。しかし、「水無月」の「無」は、「～は」「～の」の文字にあたるそうです。つまり、「水無月」とは「水の無い月」ではなく、「水の月」という意味になります。陰暦6月は、田に水を引く月であることから、水無月と言われるようになったそうです。

総合学習で、JAささかみ壮青年部のご支援を受けながら、5年生が先日田植えを終えました。秋の収穫が楽しみです。きっとおいしいお米が取れることでしょうね。



誰かに負けることもあるだろう
負け続けることもあるだろう

ただ、昨日の自分に
米一つ分、1ミリでも
前へ進み続ける限り

あなたは確実に成長する